SONY

4-527-232-**01**(1)

FM/AM/ラジオNIKKEI PLLシンセサイザーラジオ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICF-M780N

準備をする

1 電源コードをつなぐ。

本機の AC IN 端子に電源コードのプラグを差し込んだ後に、壁のコンセントに差し込んでください。

FM ラジオ、ラジオ NIKKEI を聞くときはロッドアンテナを伸ばしてください。AM ラジオを聞くときはロッドアンテナを立てる必要はありません。

2 時計を合わせる。

初めて乾電池を入れたり電源コードをつなぐと、表示窓に「AM 12:00」が点滅します。

時計設定ボタンを「時」が点滅するまで長押しします。

「時」の合わせかた

＋または－ボタンを押して「時」を合わせ、決定ボタンを押します。

「分」の合わせかた

長押し：時計設定

決定

＋または－ボタンを押して「分」を合わせ、決定ボタンを押します。

ご注意

- 何も操作しない時間が 65 秒を経過すると、時刻合わせは中止されます。
- 時刻セット後に電源コードと電池の両方を抜くと、設定した時刻がリセットされます。

ラジオを聞く（AM/FM）

1 電源ボタンを押して、ラジオの電源を入れる。

2 FM/AM ボタンを押して FM または AM を選ぶ。

ボタンを押すたびにバンド（FM と AM）が切り換わります。

3 聞きたい放送局を選ぶ。

＋ボタンまたは－ボタンを押して選局します。

現在選択しているバンド

ボタンを長押しした場合は、自動的に周波数をスキャンして放送局を3秒間づつ受信する「スキャン選局モード」となります。スキャン選局モードについて詳しくは、裏面の「便利な機能を使う」の「スキャン選局について」をご覧ください。

ラジオを聞く（ラジオNIKKEI）

1 電源ボタンを押して、ラジオの電源を入れる。

2 ラジオ NIKKEI ボタンを押して、第 1 放送または第 2 放送を選ぶ。

ボタンを押すたびに、ラジオ NIKKEI 放送の第 1 と第 2 が切り換わります。

3 良く聞こえる周波数を選ぶ。

現在受信している周波数。＋ボタンまたは－ボタンを押して、3 MHz、6 MHz、9 MHz の中から最も良く聞こえる周波数を選んでください。

ラジオ NIKKEI の第 1 放送を選んでいるときは「1」、第 2 放送を選んでいるときは「2」が表示されます。

うまく受信できないときは

電波が弱い、途切れる、受信状態が悪いなど、ラジオ放送がうまく受信できないときは、アンテナの長さや角度、ラジオの向きを調節してください。はっきりとした音で聞ける場合があります。

また、屋内でラジオをお使いのときは、窓際など受信しやすい場所での使用をおすすめします。

建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓際でお聞きください。

- 次の方法で受信状態が良くなるよう調節してください。
  - **FM 放送、ラジオ NIKKEI の場合：**FM 放送の場合は、ロッドアンテナを伸ばし、受信状態が良くなるように長さや角度を調節します。ラジオ NIKKEI 放送の場合には、ロッドアンテナを垂直に立てて長さを調節してください。
ロッドアンテナの角度を調節するときは、付け根の部分を持ってください。先端部分を持ったり過剰な力を加えると、アンテナを破損することがあります。

・FM 放送の場合　・ラジオ NIKKEI の場合

  - **AM 放送の場合：**AM 専用アンテナが本機内部に入っていますので、受信状態が最もよくなるようにラジオの向きを変えてください。

放送局を記憶させる

よく聞く放送局をラジオのプリセット選局ボタン（1 ～ 5）に登録することができます。FM、AM、ラジオ NIKKEI のそれぞれで各５局が登録できます。

1 記憶させたい放送局を受信する。

放送局の受信のしかたは、「ラジオを聞く（AM/FM）」または「ラジオを聞く（ラジオ NIKKEI）」をご覧ください。

2 記憶させたい番号のプリセット選局ボタンを「ピーッ」と音がするまで長押しする。

プリセット選局ボタン「1」に FM 放送の 90.0MHz を記憶させたときの表示

記憶させた放送局を変更するには

1. 新たに記憶させたい放送局を受信する。
2. 登録を変更したいプリセット選局ボタンを長押しする。
前に登録した放送局は消え、受信している放送局に入れ換わります。

記憶させた放送局を聞く

1 FM/AM ボタンまたはラジオ NIKKEI ボタンを押す。

2 プリセット選局ボタン（1 ～ 5）を押し、聞きたい放送局を選ぶ。

ご注意

- プリセット選局ボタンは長押ししないでください。2 秒以上押すと、登録済みの放送局と受信中の放送局が入れ換わってしまいます。
- プリセット選局ボタンに放送局が登録されていないときは、ボタンを押したときに「Non」が表示され、直前に合わせていた周波数に戻ります。

音量を調節するには

ラジオ側面の音量つまみを回して調節してください。

ヘッドホンをつないで聞くには

別売りのヘッドホンをラジオ側面の ☊（ヘッドホン）端子につないでください。音声は、モノラル出力となります。

☊（ヘッドホン）端子へ

ご注意

モノラルミニプラグ（2 極）またはステレオミニプラグ（3 極）のヘッドホンをお使いください。これら以外のヘッドホンをつなぐと、音が出ない場合があります。

* ヘッドホンは、モノラルヘッドホン（φ 3.5 mm ミニプラグ）の使用をおすすめします。ステレオヘッドホンもお使いいただけますが、その場合、音声はモノラル出力となります。

乾電池で使うには

下図の ❶、❷ の手順で電池ぶたを開けます。

単 2 形乾電池 3 本（別売）

電池ぶたを閉めるときは、❸ の方向へ「カチッ」と音がするまでスライドさせてください。

ご注意

- 乾電池が消耗して音が小さくなったり、歪んだりするようになると、表示窓に「[電池マーク]」が点滅します。電池を使い切ると「[電池マーク]」の点滅が点灯に変わり、ラジオが電源オフの状態になります。「[電池マーク]」が点滅を始めたら、電池をすべて新しいものと交換してください。
- 乾電池は、電源を切ってから 60 秒以内に交換してください。電源が入ったまま交換したり、交換に 60 秒以上かかると、現在時刻やプリセット選局で記憶させた放送局、めざまし機能で設定した時刻が消えてしまいます。万一、設定が消えてしまったときは、もう一度設定し直してください。なお、「[電池マーク]」の表示は、電池交換後に電源を入れると消えます（電源を入れるまでは交換後も消えません）。
- 長い間本機を使わないときは、乾電池は取り出してください。再びご使用になる際には、現在時刻やプリセット選局で記憶させた放送局、めざまし機能で設定した時刻を設定し直してください。

保証書とアフターサービス

保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

この説明書をもう 1 度ご覧になってお調べください。それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 6 年間保有しています。ただし、故障その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。　http://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥ 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 050-3754-9577

修理相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥ 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 050-3754-9599
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「304」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

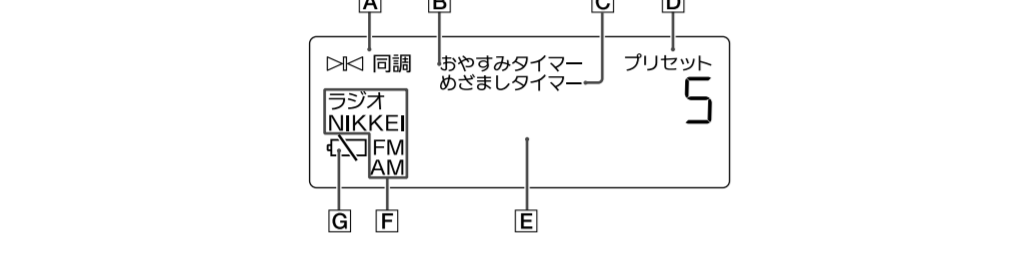
各部のなまえ

本体

シリアルナンバーは、この部分に記載されています。

1 電源ボタン
2 音量つまみ *
3 ラジオ NIKKEI ボタン
4 FM/AM ボタン
5 ∩（ヘッドホン）端子
6 ＋、– ボタン *
7 決定ボタン（長押し時：時計設定）
8 めざまし入・切ボタン（長押し時：めざまし設定）
9 おやすみタイマーボタン
10 スピーカー
11 表示窓（液晶画面）
12 プリセット選局ボタン *
13 ロッドアンテナ
14 AC IN 端子
15 電池ぶた
16 取っ手

* 音量つまみの＋側の音量最大位置、＋ボタン、プリセット選局ボタンの 3 番のボタンには、凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

表示窓

A 放送局を受信すると点灯します。
B おやすみタイマーの設定モード時、またはおやすみタイマーを設定したときに点灯します。
C めざましタイマーの設定モード時、またはめざましタイマーを設定したときに点灯します。
D プリセット選局ボタンで放送局を記憶させたり、登録した放送局を呼び出したときに点灯します。
E 周波数 / 時刻 / メッセージ表示エリア
F 現在選択しているラジオのバンドが点灯します。
G 乾電池が消耗したときに点滅 / 点灯します。点滅したときは、電池をすべて新しいものと交換してください。

便利な機能を使う

おやすみタイマー機能

設定時間が来ると、自動的にラジオの電源が切れます。

1 おやすみタイマーボタンを押す。

「90」（初期設定）が表示され、「おやすみタイマー」が点滅します。
ラジオの電源が入っていないときにおやすみタイマーボタンを押すと、自動的にラジオの電源が入ります。

2 「おやすみタイマー」が点滅している間におやすみタイマーボタンを押し、お好みの設定を選ぶ。

ボタンを押すたびに設定（分）が次のとおり切り換わります。

90 → 60 → 30 → 15 → OFF → 90

3 決定ボタンを押す。

選択した設定が確定し、「おやすみタイマー」の点滅が止まります。

ちょっと一言

- 約 3 秒以内に決定ボタンを押さない場合、表示窓に表示されている設定が自動的に選択されます。
- おやすみタイマーの設定後に再度おやすみタイマーボタンを押すと、ラジオの電源が切れるまでの残り時間を確認することができます。

おやすみタイマーを解除するには

おやすみタイマーを「OFF」に設定するか、電源ボタンを押して電源をいったん切り、もう一度電源を入れることで解除することができます。おやすみタイマーを解除すると表示窓の「おやすみタイマー」の表示が消えます。

設定時間を変えるには

おやすみタイマーボタンを押してほかの設定を選んでください。

めざましタイマー機能

設定した時刻になると、自動的にラジオの電源が入ります。あらかじめ聞きたい放送局を選んでおいてください。

1 めざまし設定ボタンを長押しする。

「時」と「めざましタイマー」が点滅します。

2 ＋ボタンまたは – ボタンを押して「時」を設定し、決定ボタンを押す。

「分」が点滅します。

3 ＋ボタンまたは – ボタンを押して「分」を設定し、決定ボタンを押す。

「めざましタイマー」の点滅が止まり、設定完了です。ラジオの電源が入っている場合は、電源ボタンを押して電源を切ってください。

ご注意

- めざましタイマーの時刻合わせは 65 秒内に行ってください。何も操作しない時間が 65 秒を経過すると、めざましタイマーの設定は中止されます。
- めざましタイマーによってラジオの電源が入ると、自動的におやすみタイマーがセットされ、90 分後に電源が切れます。ラジオの電源が切れるまでの間は、「めざましタイマー」と「おやすみタイマー」の両方が表示窓に点灯した状態となります。

めざましタイマーを解除するには

めざまし入・切ボタンを押して解除します。解除すると「めざましタイマー」の表示が消えます。
めざましタイマー機能がオンの状態のときは、毎日設定した時刻にめざまし機能が働きます。

「スキャン選局」について

1 FM/AM ボタンを押してバンドを選び、＋ボタンまたは－ボタンを長押しする。

スキャン選局がスタートします。

2 聞きたい放送局を受信したら、決定ボタンを押す。

スキャン選局が始まると、最後に受信していた放送局の周波数から次の周波数を自動的に受信します。放送局を受信すると 3 秒間放送が聞こえ、次の周波数を探しますので、目的の放送局を受信したときに決定ボタンを押してください。

バックライトについて

節電のため、何も操作しない時間が 15 秒を経過すると自動的に表示窓のバックライトが消えます。

ちょっと一言

スキャン選局を行っているときは、常時バックライトは点灯します。

時計表示形式の切り換え

1 電源ボタンを押して、ラジオの電源を切る。

2 ＋ボタンとプリセット選局ボタン 1 を長押しする。

ボタンを押すたびに 12 時間形式と 24 時間形式が切り換わります。

ご注意

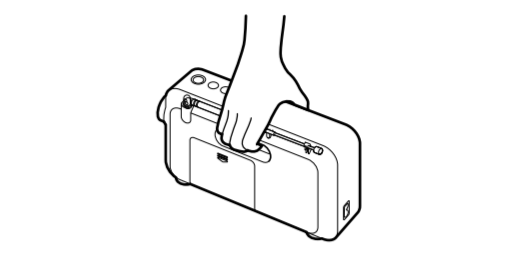
時計表示形式は、ラジオの電源が入った状態では変更できません。表示形式を切り換えるときは、あらかじめラジオの電源を切ってください。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ（40 ℃以上）や低いところ（0 ℃以下）。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - 窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。
  - ほこりの多いところ。
  - 本箱や組み立て式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところ。
- 本機の内部に液体や異物を入れないでください。
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に、雨や雪、湿度の多い場所での使用にはご注意ください。ぬれた手で触ると、水濡れの原因になることがあります。
- 本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火災源を置かないでください。
- 本機の上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。
- 付属の電源コードは本機専用です。他の電気機器では使用できません。

本機の持ち運びについて

- 本機を持ち運ぶ際は、背面の取っ手をしっかり握って落とさないようご注意ください。

機銘板について

- 機銘板は本機の底面にあります。

ラジオ NIKKEI の周波数の切り換えについて

- ラジオ NIKKEI 放送の受信状態は、AM 放送、FM 放送と異なり季節、時間、場所などによって音が大きくなったり、小さくなったり、時にはまったく聞こえなくなることがあります。ラジオ NIKKEI 第 1 放送とラジオ NIKKEI 第 2 放送は、それぞれの放送内容を 3 種類の周波数（3 MHz、6 MHz、9 MHz）で同時に放送しています。放送が最も良く聞こえる周波数を選んでください。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼いただく前に、次のことをお調べください。

表示窓の文字や記号が薄くて見にくい

- 極端に暑い場所や寒い場所で使っている。
- 電池が消耗している。電池が消耗していたら、すべて新しい乾電池と交換してください。

雑音が入る

- 近くに携帯電話などの電波を発する機器を置いていると、雑音が入ることがあります。携帯電話などの機器を本機から離してください。

電池の消耗が早い

- ラジオをお聞きにならないときは、本機の電源を切ってください。電池の持続時間については、「主な仕様」の「電池持続時間」をご覧ください。
- 表示窓に「」が点滅したら、電池をすべて新しいものに交換してください。

プリセット選局ボタンを押しても、聞きたい放送局が受信できない

- プリセット選局ボタンを押す前に、忘れずにバンド（FM、AM、ラジオ NIKKEI）を選んでください。
- プリセット選局ボタンを長押しすると現在受信中の放送局を記憶するため、誤操作により登録が別の放送局と置き換わっている可能性があります。もう一度プリセット選局ボタンに放送局を記憶させてください。

プリセット選局ボタンを押すと、「Non」が表示され、プリセット番号が点灯する

- 点灯したプリセット番号のプリセット選局ボタンに放送局が登録されていません。放送局を登録してください。

テレビの音声を受信できない

- 地上アナログテレビ放送終了にともない、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

主な仕様

時計表示
12 時間表示 /24 時間表示

受信周波数
FM: 76 MHz ～ 108 MHz
AM: 531 kHz ～ 1,710 kHz
ラジオ NIKKEI（第 1 放送）：
3.925 MHz/6.055 MHz/9.595 MHz
ラジオ NIKKEI（第 2 放送）：
3.945 MHz/6.115 MHz/9.760 MHz

スピーカー
直径約 10 cm、丸型 12 Ω（モノラル）

実用最大出力
500 mW (JEITA*1)

出力端子
∩（ヘッドホン）端子（φ 3.5 mm ミニジャック）

電源
AC 100 V、50/60 Hz
DC 4.5 V、単 2 形乾電池 3 本

電池持続時間 *2（JEITA*1）
約 100 時間（FM 放送受信時）
約 100 時間（AM 放送受信時）
約 100 時間（ラジオ NIKKEI 第 1 または第 2 放送受信時）

最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）（JEITA*1）
約 253 mm × 136.3 mm × 61.2 mm

質量
約 860 g（乾電池除く）
約 1,060 g（乾電池含む）

付属品
電源コード（1）、取扱説明書（1）、保証書（1）

*1 JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。
*2 ソニー単 2 形アルカリ乾電池（LR14SG）を使用した場合の時間です。実際の電池持続時間は、本機の状況により変動する可能性があります。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1 年に 1 度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないかなどを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

内部に水や異物を入れない（禁止）
内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニー相談窓口にご依頼ください。

電源コードを傷つけない（禁止）
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない（禁止）
火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

海外では使用しない（指示）
交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない（接触禁止）
感電の原因となります。ロッドアンテナ付き製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにアンテナを縮めて使用を中止し、その後は触れないでください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない（ぬれ手禁止）
感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない（禁止）
布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない（分解禁止）
感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く（プラグをコンセントから抜く）
電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
またロッドアンテナ付きの製品を持ち運ぶ際は、目のけがなどをしないように、アンテナを縮めてください。長期間の外出･旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く（プラグをコンセントから抜く）
電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

安定した場所に置く（禁止）
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所の強度も充分に確認してください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない（禁止）
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する（指示）
異常が起きた場合にプラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるように、電源プラグは容易に手の届くコンセントにつないでください。
通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離されません。

電池についての安全上のご注意

液漏れ･破裂･発熱･発火･誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

本製品では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

乾電池
単2形アルカリ乾電池

⚠危険 乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない。
液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービスステーションにご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

- 小さい電池は飲みこむおそれがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲みこんだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
- 乾電池は、機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。ショートさせない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯･保管しない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。
- 長期間使用しないときは電池を取りはずす。
- 水などでぬらさない。風呂場などの湿気の多いところでは使わない。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ･炎天下の車中など、高温の場所で使用･保管･放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。